

静岡県月例経済報告

(令和元年5月号)

……平成31年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 517

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	14
	・ その他	17
III	静岡県主要産業の動向	21
IV	データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成31年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成31年3月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が鈍化している。
- ・ 生産は、増勢が鈍化している。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額（3月）は、百貨店が7か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパーが3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額（3月）は、家電大型専門店が2か月連続、コンビニエンスストアが5か月連続、ドラッグストアが25か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（3月）は、乗用車が2か月連続、軽自動車が6か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数（3月）は、持家が7か月連続、貸家が4か月ぶり、分譲住宅が5か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（3月）は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観（平成31年4月1日）の平成31年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（3月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、増勢が鈍化している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（3月）は、エアコン、二輪自動車類がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機、科学光学機器がいずれも2か月連続、自動車が2か月ぶり、自動車の部分品が6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（3月）は、魚介類及び同調製品が2か月ぶり、パルプが2か月連続、原動機が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材、紙類及び同製品がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,110億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、増勢が鈍化している」

鉱工業生産指数（2月）は、輸送機械が4か月ぶり、食料品・たばこが5か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が7か月連続、電気機械が14か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも8か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は4か月連続で低下した。

なお、鉱工業在庫指数（2月）は、総合では7か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（3月）は1.67倍で、前月を0.02ポイント下回った。また、62か月連続で1倍を上回った。なお、25か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（3月）は、68か月ぶりに前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（1月）は、14か月ぶりに前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（3月）は、前年同月比 1.6%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（3月）は、前年同月比 20.2%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（4月）は、件数は16件（前年同月比 33.3%増）、負債総額は24億5,700万円（同 16.2%増）といずれも前年実績を上回った。

<トピックス> 「第58回静岡ホビーショー」

プラモデルメーカーが集積する静岡県において、その魅力をPRするため、「第58回静岡ホビーショー」が開催されました。

今年度から、初日（5月8日（水））に静岡県内の小・中・高校生を招待する日を新設し、プラモデルの製作体験や製造工程の実演などのプログラムを通じてものづくりの大切さ、面白さを体感して頂きました。

1 イベント概要

- (1) 開催日 令和1年5月8日（水）～ 12日（日）
- (2) 会場 ツインメッセ静岡（静岡市駿河区曲金3丁目1-10）
- (3) 主催 静岡模型教材協同組合
- (4) 出展数 84企業、2団体

2 小・中・高校生招待日

- (1) 開催日 令和1年5月8日（水）9時～18時
- (2) 参加者 小学生：3,000人 中学生：800人 高校生：1,400人
城南静岡高校、静岡聖光学院中学の生徒がボランティアとして協力
- (3) 特徴
 - ・静岡ホビーショーの出展ブースの見学
 - ・射出成型機によるプラモデル製造工程の見学
 - ・工具の使い方指導
 - ・模型製作、ラジコン操縦の体験

3 参加者から寄せられた声（一部抜粋）

- ・いろいろな体験ができて楽しかったです。いろいろ学べて楽しかったです。（小学生）
- ・僕も将来この静岡県の誇るものづくりの、特にプラモデルの産業にぜひ関わりたいなと思っています。（ボランティア学生）
- ・各ブースの担当の方々が、すごく分かりやすく教えてくれて、ホビーのことだけじゃなくて、静岡のあたたかさを改めて知ることができました。（ボランティア学生）



展示ブースの見学



プラモデル製作体験

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 34,354百万円

*前年同月比： 1.7%増

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は34,354百万円で、前年同月比 1.7%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.1%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、スーパー（同 2.4%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（前年同月比 1.3%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 0.8%増）が9か月ぶり、飲食料品（同 2.1%増）が3か月ぶり、家庭用品（同 6.4%増）が18か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は3.1%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
販売額(百万円)	33,855	32,358	33,408	33,659	43,100	34,284	29,545	34,354
前年同月比(%)	0.0	3.0	▲0.8	▲2.3	0.6	▲6.5	▲4.5	1.7
うち百貨店(%)	1.9	▲0.2	▲1.6	▲1.4	▲2.8	▲3.5	▲0.9	▲1.1
スーパー(%)	▲0.4	3.8	▲0.6	▲2.6	1.6	▲7.3	▲5.3	2.4
(参考1)全国前年同月比(%)	▲0.1	0.4	▲0.8	▲2.1	▲1.0	▲3.3	▲1.8	0.6
うち百貨店(%)	0.6	▲2.6	1.1	▲1.1	▲1.3	▲3.3	▲0.1	▲0.2
スーパー(%)	▲0.4	1.7	▲1.8	▲2.6	▲0.8	▲3.4	▲2.7	1.0
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.4	2.7	▲0.6	▲1.2	1.3	▲5.8	▲4.1	3.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
衣料品	▲1.5	▲0.7	▲7.0	▲5.8	▲2.1	▲6.7	▲7.2	0.8
うち紳士服・洋品	▲3.2	▲1.0	▲7.5	▲7.0	▲1.6	▲9.7	▲9.9	4.7
婦人・子供服・洋品	▲1.8	▲1.0	▲5.6	▲4.4	▲1.8	▲4.6	▲7.0	▲0.4
身の回り品	▲0.2	▲3.2	▲5.6	▲1.9	6.4	▲4.5	▲0.9	▲1.3
飲食料品	0.7	4.8	1.2	▲0.6	1.5	▲6.1	▲4.2	2.1
家庭用品	▲6.6	▲1.5	▲0.6	▲9.0	▲4.8	▲15.0	▲8.9	6.4
うち家庭用電気機械器具	▲1.4	10.8	8.4	▲6.7	0.7	▲1.5	1.4	14.6

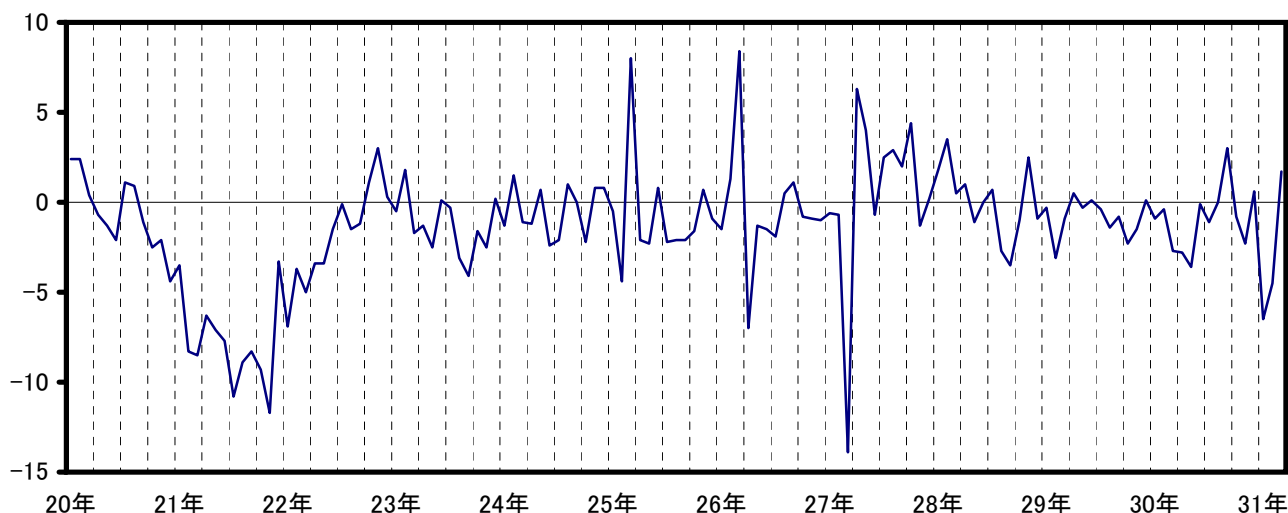
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 71,028百万円

*前年同月比： 3.8%増

(県内87家電大型専門店、1,701コンビニエンスストア、490ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は71,028百万円で、前年同月比 3.8%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(同 5.5%増)が2か月連続、コンビニエンスストア(同 0.9%増)が5か月連続、ドラッグストア(同 8.5%増)が25か月連続、ホームセンター(同 0.6%増)が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
販売額(百万円)	72,146	66,765	67,010	65,321	78,121	66,381	60,495	71,028
前年同月比(%)	1.7	4.8	4.1	1.1	2.5	2.6	3.0	3.8
うち 家電大型専門店(%)	2.7	10.5	1.4	▲2.5	3.7	▲0.5	0.8	5.5
コンビニエンスストア(%)	1.0	3.6	▲0.1	0.8	2.1	1.9	2.8	0.9
ドラッグストア(%)	4.3	6.4	7.4	4.9	4.4	6.3	5.6	8.5
ホームセンター(%)	▲1.0	1.4	15.5	▲1.4	0.1	▲1.1	▲1.7	0.6
(参考)全国前年同月比(%)	1.6	4.6	2.0	1.2	3.0	2.2	2.7	3.0

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

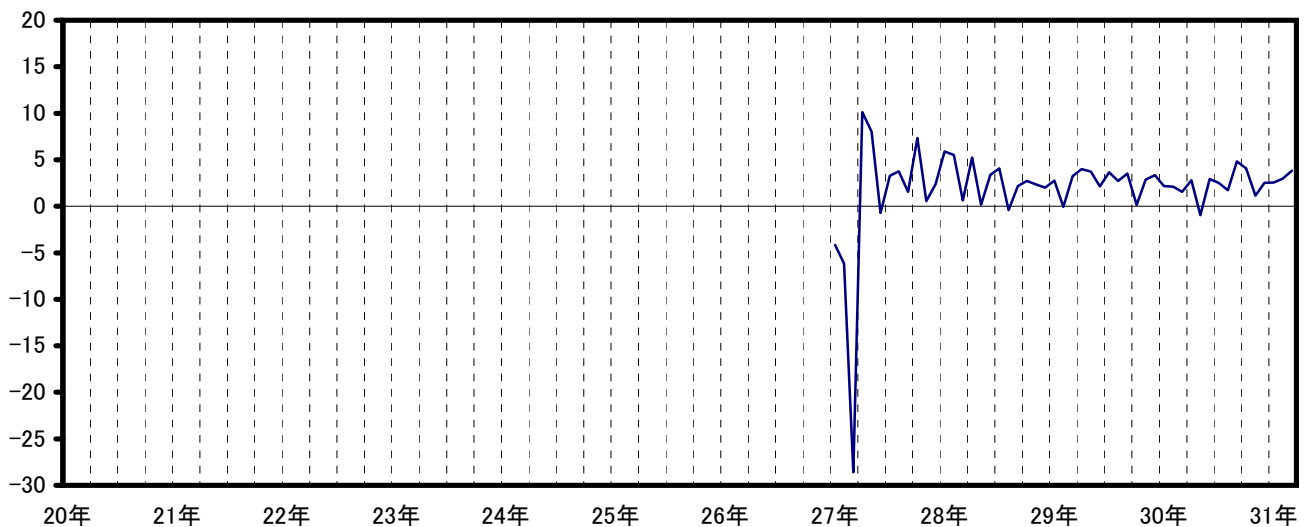
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

3月 = 22,140 台

*前年同月比： 4.6%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は22,140台(前年同月比 4.6%減)と、2か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 7.3%減)が2か月連続、軽自動車(同 1.1%減)が6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
登録台数(台)	12,013	16,766	14,092	14,723	13,208	15,664	17,761	22,140
前年同月比(%)	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2	2.0	▲ 0.7	▲ 4.6
(参考)全国前年同月比(%)	4.0	▲ 3.3	11.6	7.4	▲ 3.2	0.9	▲ 0.1	▲ 5.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

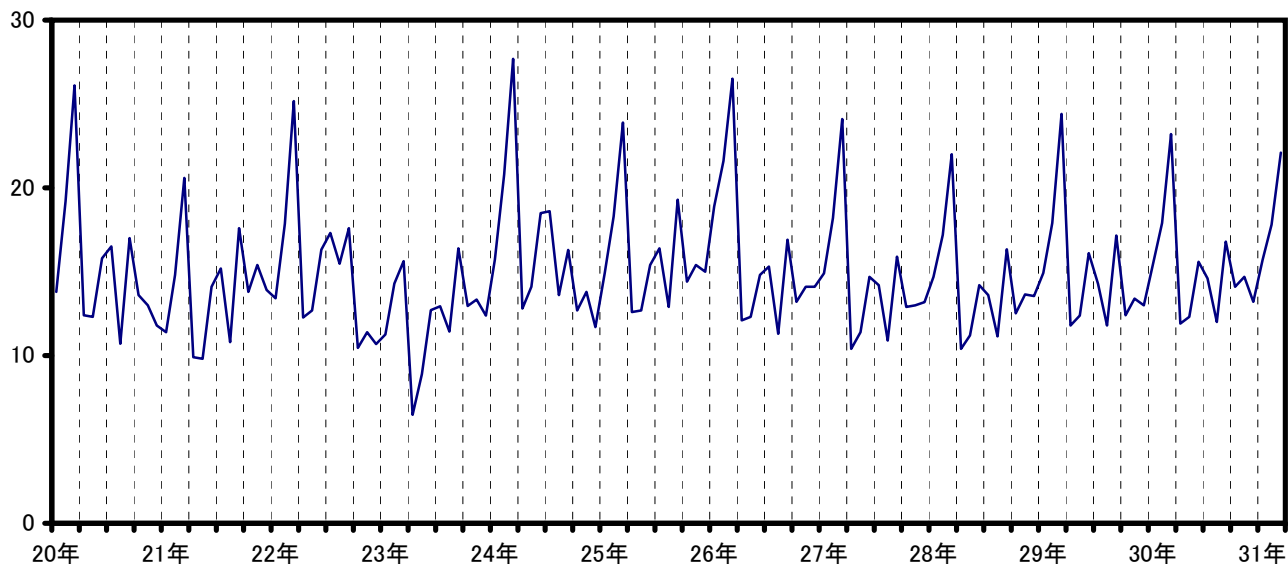
	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
全乗用車	1.9	▲ 2.3	13.8	9.6	1.2	2.0	▲ 0.7	▲ 4.6
乗用車	▲ 3.0	▲ 3.1	15.7	9.8	▲ 2.4	3.2	▲ 2.9	▲ 7.3
軽自動車	8.7	▲ 1.2	11.6	9.3	6.0	0.7	2.0	▲ 1.1

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,642 戸

*前年同月比： 10.7%増

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,642戸で、前年同月比 10.7%増と、4か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 8.6%増）が7か月連続、貸家（同 15.8%増）が4か月ぶり、分譲住宅（同 8.1%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

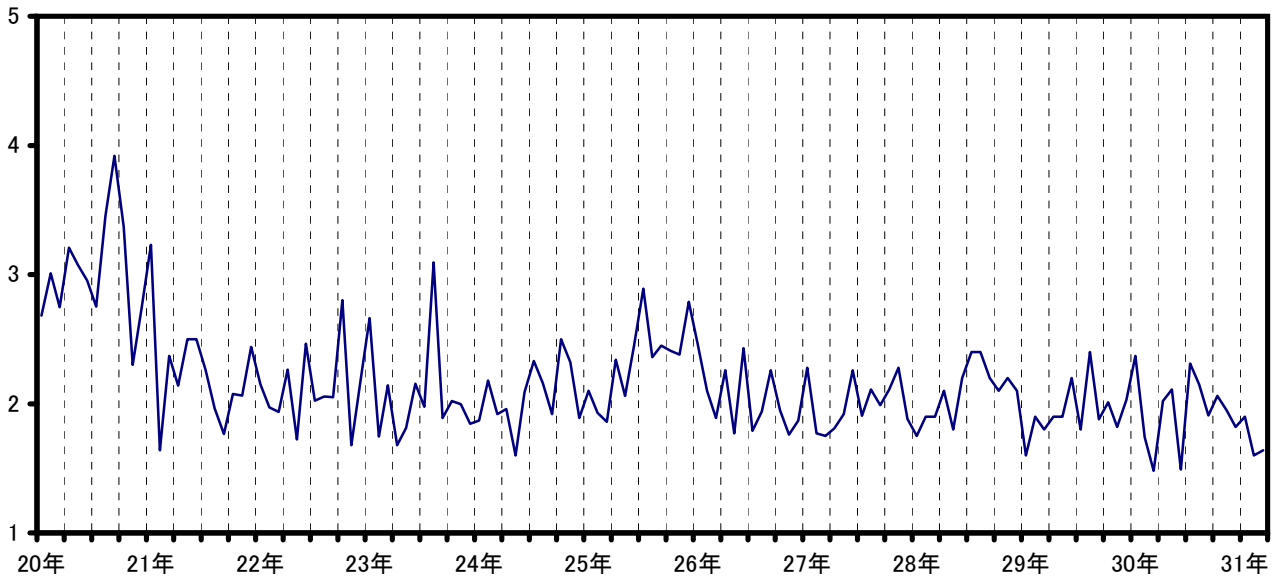
	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
戸数 (戸)	2,152	1,908	2,059	1,950	1,821	1,897	1,603	1,642
前年同月比 (%)	▲ 9.8	1.6	2.3	7.1	▲ 10.4	▲ 19.9	▲ 8.0	10.7
うち持家 (%)	▲ 1.9	4.7	8.3	3.7	2.7	1.9	7.7	8.6
貸家 (%)	▲ 26.8	▲ 10.2	▲ 7.5	19.2	▲ 25.3	▲ 11.8	▲ 8.4	15.8
分譲住宅 (%)	7.2	36.4	5.8	▲ 2.0	▲ 15.6	▲ 61.1	▲ 36.7	8.1
(参考)全国前年同月比 (%)	1.6	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	2.1	1.1	4.2	10.0

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

3月 = 14,499百万円

*前年同月比： 11.4%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は14,499百万円で、前年同月比11.4%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は268件で、前年同月比37.4%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
金額(百万円)	28,357	41,187	23,847	14,829	22,329	9,431	10,706	14,499
前年同月比(%)	16.8	▲9.9	12.5	6.2	70.9	▲1.5	28.6	▲11.4
年度累計前年同月比(%)	13.5	8.3	8.7	8.6	11.8	11.3	11.8	10.5
件数(件)	857	1,185	738	690	719	315	166	268
前年同月比(%)	8.2	▲13.6	1.2	3.4	3.6	▲14.6	▲10.3	37.4
年度累計前年同月比(%)	11.4	3.9	3.6	3.5	3.5	2.6	2.3	3.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

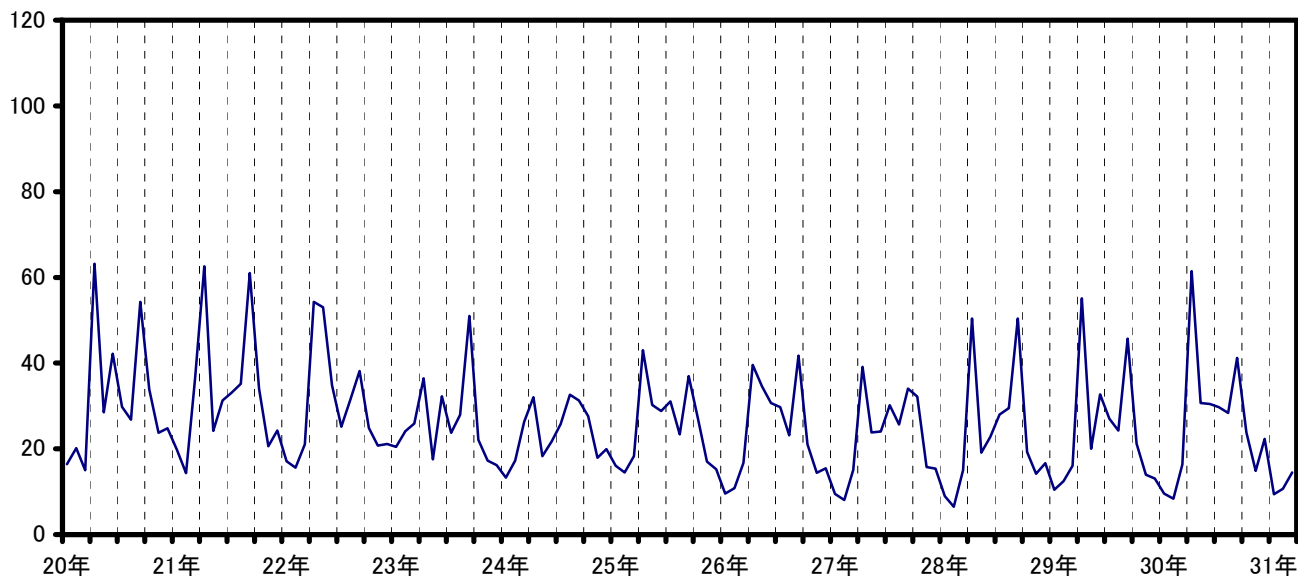
	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
国	▲0.8	▲54.8	▲25.9	▲29.2	8,054.0	130.2	58.0	43.6
独立行政法人等	▲35.1	238.5	424.5	164.3	▲4.1	▲4.8	▲21.9	▲79.9
県	20.6	▲12.0	2.4	▲12.1	18.4	▲62.0	35.0	▲49.5
市町	21.1	▲16.2	14.6	▲0.8	98.3	68.3	35.2	34.1
地方公社	▲91.5	▲32.1	290.5	467.9	912.0	▲98.3	-	-
その他	106.3	▲59.7	▲58.2	440.5	511.2	14.7	19.1	647.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

平成31年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 15.3%増）で増加、非製造業（同 4.5%減）で減少し、全産業（同 5.7%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.0%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 5.0%増）では増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は76,766㎡で、前年同月比 21.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (計画)	31年度 (計画)
全産業	県	(1.5) 10.3	5.7
	全国	(0.0) 10.4	▲2.8
製造業	県	(▲3.4) 6.2	15.3
	全国	(▲3.8) 11.1	2.0
非製造業	県	(7.3) 15.0	▲4.5
	全国	(2.4) 10.0	▲5.6

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (計画)	31年度 (計画)
全産業	県	(0.5) 11.4	5.0
	全国	(▲0.5) 9.1	0.4
製造業	県	(▲1.6) 10.0	8.0
	全国	(▲1.7) 8.4	2.0
非製造業	県	(6.6) 15.3	▲3.1
	全国	(0.8) 9.7	▲1.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成31年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成31年3月調査)」

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	153,769	236,654	115,833	87,374	212,110	68,477	153,005	76,766
前年同月比（%）	17.2	187.3	▲1.5	▲9.6	94.6	▲21.0	24.1	21.0
(参考) 全国前年同月比（%）	▲10.9	▲7.3	▲3.2	▲7.0	15.3	1.0	▲15.1	▲19.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年12月	31年3月	31年6月 (予測)
全産業	14	11	7
製造業	14	9	5
非製造業	14	13	7
(参考) 全国・全産業	16	12	7

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成31年3月調査)」

5 輸出

3月 = 201,905百万円

*前年同月比： 8.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は201,905百万円で、前年同月比 8.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 13.5%減）、二輪自動車類（同 15.7%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 8.6%増）、科学光学機器（同 25.0%増）がいずれも2か月連続、自動車（同 77.2%増）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 0.8%増）が6か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 0.1%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 5.1%増）が2か月連続、EU向け（同 30.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	174,298	192,381	186,631	180,101	211,171	151,102	180,525	201,905
前年同月比(%)	1.7	9.3	0.6	0.7	6.0	▲4.0	3.6	8.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
原動機	11.8	29.1	38.9	21.1	15.9	▲0.9	10.9	8.6
エアコン	10.4	2.2	▲20.4	▲8.1	16.6	▲5.0	30.4	▲13.5
自動車	▲23.3	33.3	▲25.8	▲11.6	10.0	165.9	▲13.5	77.2
自動車の部分品	0.0	12.1	▲2.8	▲9.6	▲4.9	▲13.2	▲7.6	0.8
二輪自動車類	▲27.8	▲19.2	▲17.9	▲7.8	▲0.5	▲8.6	2.7	▲15.7
科学光学機器	▲18.9	▲14.8	▲5.4	▲10.8	▲30.7	▲17.6	5.0	25.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
アジア	2.8	9.1	2.8	▲0.3	▲2.8	▲12.2	2.5	5.1
米国	14.7	2.5	18.7	11.0	2.4	▲4.3	8.1	▲0.1
EU	▲15.8	25.0	▲20.0	▲7.4	17.6	20.0	7.0	30.6

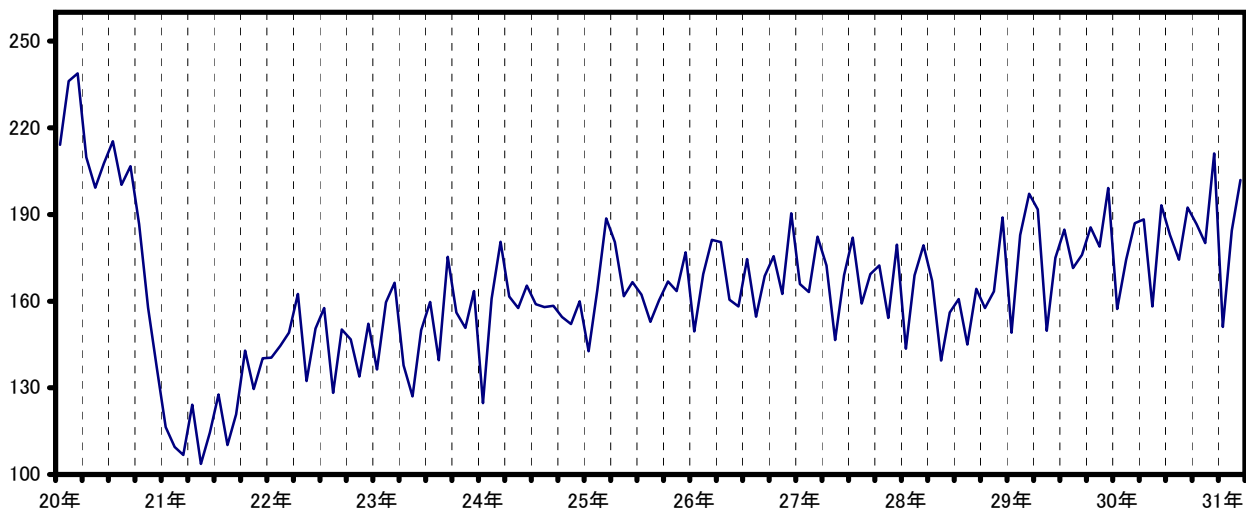
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

3月 = 90,871百万円

*前年同月比： 15.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は90,871百万円で、前年同月比 15.3%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 21.4%減）が2か月ぶり、パルプ（同 16.1%減）が2か月連続、原動機（同 10.4%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材（同 2.1%増）、紙類及び同製品（同 9.7%増）がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品（同 2.7%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、EUから（前年同月比 4.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 13.8%増）が6か月連続、米国から（同 22.5%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	89,373	84,671	105,004	97,059	100,856	104,385	77,453	90,871
前年同月比(%)	4.6	1.2	43.2	8.3	13.1	16.2	▲9.1	15.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	▲8.4	▲15.5	35.3	▲21.6	4.3	▲7.3	0.7	▲21.4
木材	▲6.0	▲21.5	2.3	▲26.4	▲12.0	8.7	▲26.3	2.1
パルプ	6.5	▲24.0	81.0	13.8	▲27.5	37.5	▲29.0	▲16.1
紙類及び同製品	▲19.3	9.4	5.2	▲18.6	8.8	37.1	▲11.0	9.7
原動機	51.7	▲21.0	40.0	53.9	▲1.2	87.9	36.4	▲10.4
自動車の部分品	13.9	33.2	30.7	44.4	61.6	▲6.0	6.8	2.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

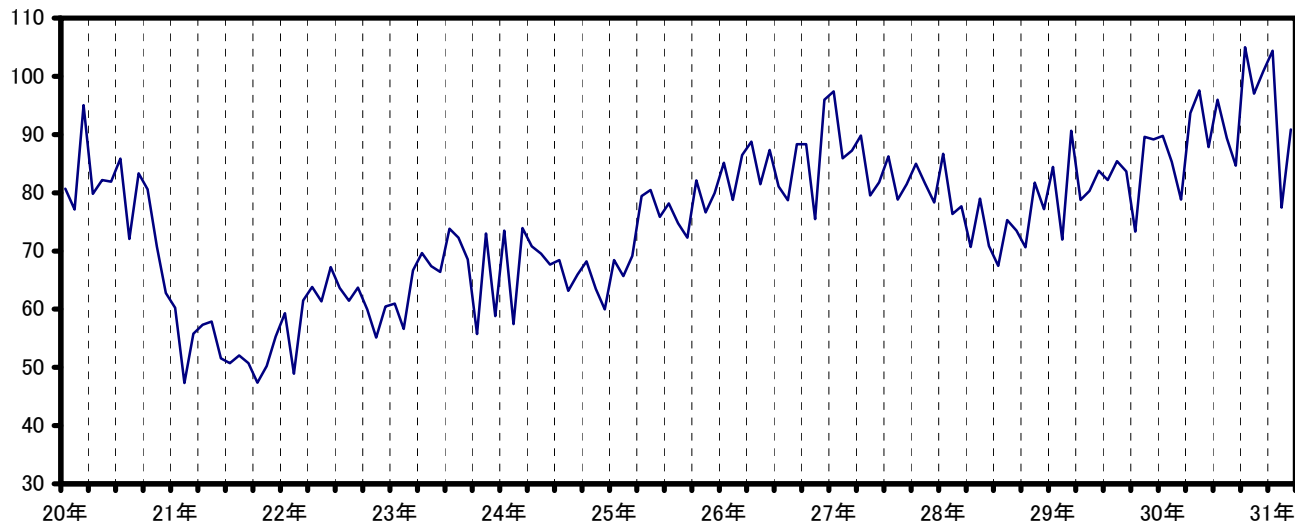
	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
アジア	8.7	▲5.7	35.1	25.7	9.3	11.0	3.5	13.8
米国	21.8	▲19.9	▲13.8	2.4	▲2.8	16.4	▲27.1	22.5
EU	14.2	2.0	55.9	▲5.2	▲7.4	▲14.0	17.1	▲4.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

2月 = 101.1

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.8%減

*前年同月比(原指数) : 0.5%増

<概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は101.1(季節調整済指数)で、前月比2.8%減と、4か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は0.5%増と、8か月連続で前年水準を上回った。
業種別にみると、輸送機械(前年同月比5.6%減)が4か月ぶり、食料品・たばこ(同4.6%減)が5か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同6.7%増)が7か月連続、電気機械(同13.9%増)が14か月連続、化学(同4.4%増)、パルプ・紙・紙加工品(同1.0%増)がいずれも2か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
指数	102.9	104.6	107.6	109.0	107.7	107.1	104.0	101.1
前月比(%)	▲0.5	1.7	2.9	1.3	▲1.2	▲0.6	▲2.9	▲2.8
前年同月比(%)	3.1	1.5	2.3	4.2	5.2	2.1	4.6	0.5
(参考)全国前年同月比(%)	2.1	0.2	▲2.5	4.2	1.5	▲1.9	0.0	▲1.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲5.1	2.2	8.4	4.1	6.0	1.6	19.0	6.7
電気機械工業	11.9	13.9	23.8	22.7	11.3	6.8	13.2	13.9
輸送機械工業	6.5	▲2.9	▲1.0	▲0.4	2.1	0.7	0.0	▲5.6
化学工業	3.8	7.5	▲2.0	5.1	9.7	▲0.8	1.1	4.4
パルプ・紙・紙加工品工業	0.5	1.1	▲0.2	▲0.1	2.6	▲3.3	0.1	1.0
食料品・たばこ工業	▲4.1	▲4.9	▲0.1	6.5	4.8	3.4	4.8	▲4.6

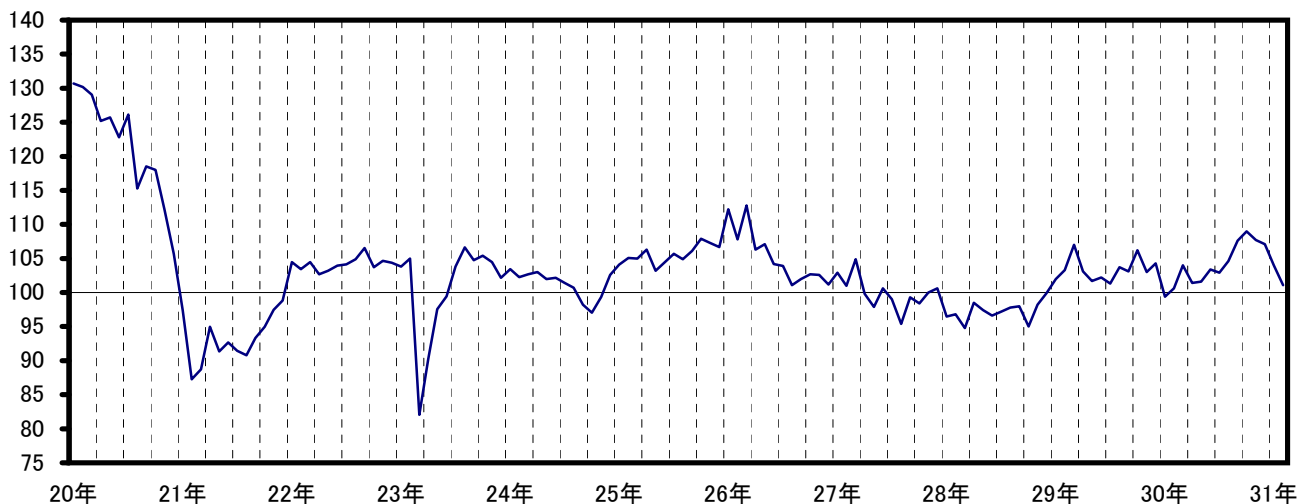
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

2月 = 108.1

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.6%減

*前年同月比(原指数) : 0.2%増

<概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は108.1(季節調整済指数)で、前月比は0.6%減と、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は0.2%増と、7か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比 41.4%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 4.0%減)が20か月連続、食料品・たばこ(同 7.7%減)が5か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 13.7%増)、電気機械(同 1.0%増)がいずれも2か月連続、化学(同 26.1%増)が23か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
指数	104.2	109.0	116.8	111.0	108.5	114.1	108.8	108.1
前月比(%)	▲0.1	4.6	7.2	▲5.0	▲2.3	5.2	▲4.6	▲0.6
前年同月比(%)	▲0.1	3.9	11.8	1.5	1.9	9.9	4.8	0.2
(参考)全国前年同月比(%)	3.2	2.8	3.5	▲0.7	0.6	1.9	1.2	1.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲2.6	1.7	▲3.4	▲3.1	0.6	▲0.7	12.2	13.7
電気機械工業	▲9.3	▲10.5	▲4.0	▲6.2	▲7.8	▲3.8	4.4	1.0
輸送機械工業	▲18.4	▲8.7	2.1	▲9.0	▲9.0	0.8	▲25.1	▲41.4
化学工業	22.1	24.9	61.2	22.7	15.4	56.7	36.1	26.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲6.4	▲4.6	▲1.3	▲8.4	▲7.2	▲11.1	▲6.7	▲4.0
食料品・たばこ工業	▲7.0	▲0.1	▲1.0	0.2	14.1	4.2	0.9	▲7.7

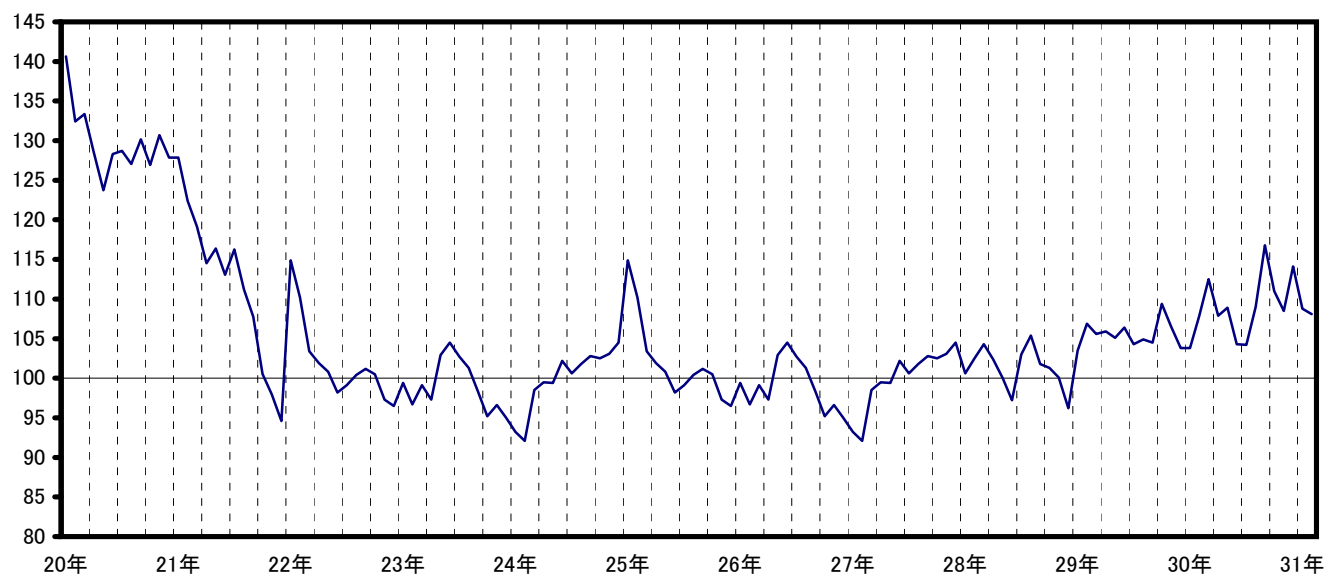
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.67倍

*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

3月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.67倍となり、前月を0.02ポイント下回った。また、25か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比7.1%減)は4か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、運輸業・郵便業(前年同月比7.8%増)、卸売業・小売業(同7.2%増)がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、建設業(同15.2%減)が2か月ぶり、製造業(同11.6%減)が4か月連続、情報通信業(同10.7%減)が7か月連続、医療・福祉(同1.8%減)が10か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同15.3%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
県	1.69	1.69	1.66	1.66	1.66	1.69	1.69	1.67
全 国	1.63	1.63	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
建 設 業	▲ 1.7	▲ 10.4	▲ 8.5	▲ 1.2	▲ 12.1	▲ 10.0	9.0	▲ 15.2
製 造 業	17.1	▲ 4.8	16.7	10.5	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 0.4	▲ 11.6
情 報 通 信 業	2.9	▲ 11.4	▲ 31.1	▲ 3.7	▲ 8.7	▲ 45.5	▲ 11.8	▲ 10.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	10.7	▲ 3.5	6.5	17.1	▲ 8.8	3.4	▲ 2.5	7.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	0.9	▲ 9.1	▲ 11.4	▲ 14.1	19.3	▲ 11.1	▲ 11.9	7.2
医 療 ・ 福 祉	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 10.1	▲ 4.4	▲ 0.6	▲ 12.1	▲ 3.0	▲ 1.8
サービス業(他に分類されないもの)	5.1	▲ 18.1	▲ 4.5	▲ 1.4	▲ 26.1	11.4	▲ 13.0	▲ 15.3
合 計	4.6	▲ 9.1	▲ 1.3	▲ 0.2	▲ 6.9	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 6.6

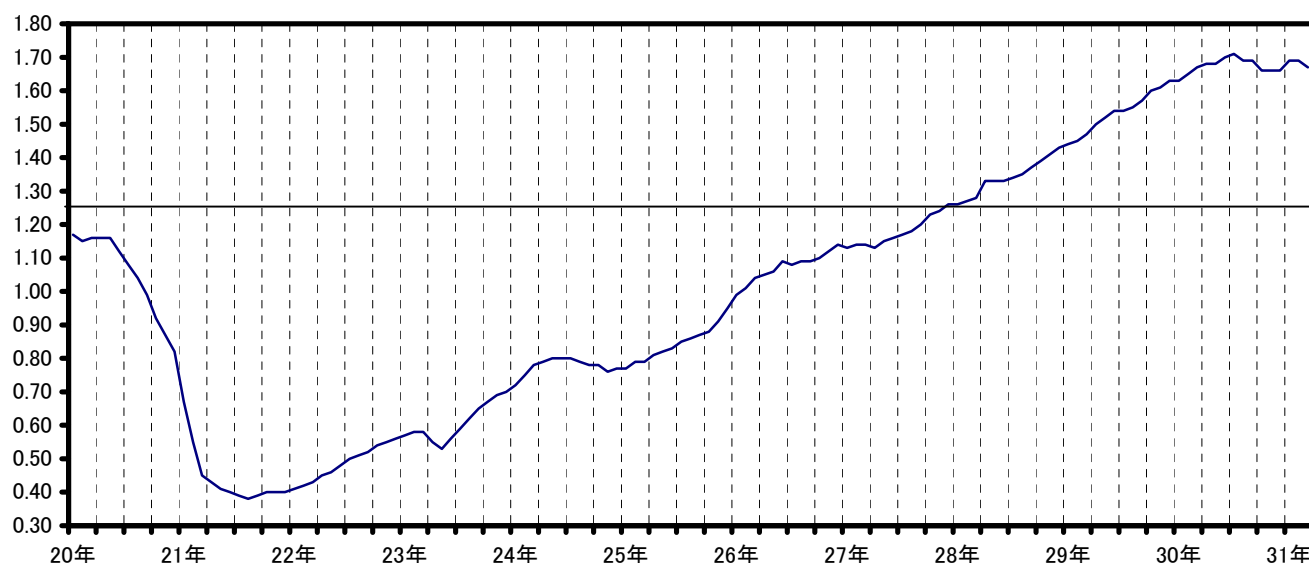
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 9,466人

*前月比: 0.6%減

*前年同月比: 0.1%増

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は9,466人で、前月比は0.6%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は0.1%増と68か月ぶりに前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.5%で、前月から0.2ポイント悪化した。

静岡県(平成30年10~12月)の完全失業率は1.8%で、前期(30年7~9月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
実人員(人)	11,407	10,605	10,885	10,196	9,577	9,922	9,522	9,466
前月比(%)	3.9	▲7.0	2.6	▲6.3	▲6.1	3.6	▲4.0	▲0.6
前年同月比(%)	▲3.7	▲5.6	▲2.0	▲6.0	▲6.8	▲2.3	▲1.1	0.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.3	▲1.6	0.8	▲1.0	▲0.7	1.4	1.8	0.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5	2.3	2.5

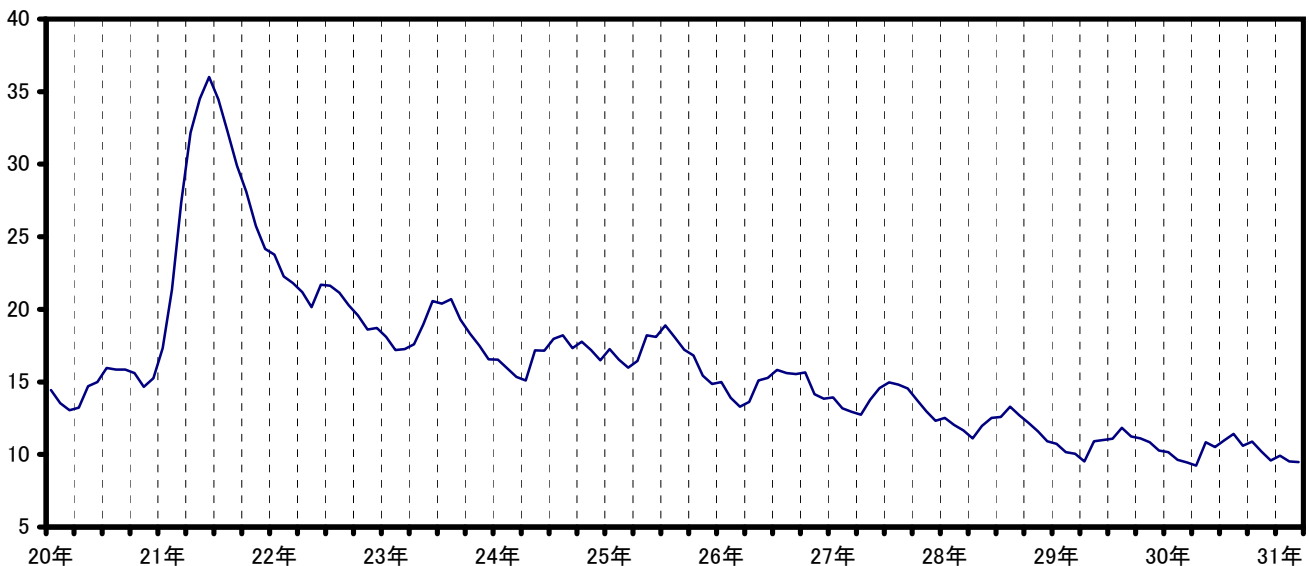
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

1 月 = 95.1

*前月比(季節調整済指数): 3.9%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.4%増

<概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は95.1(季節調整済指数)で、前月比3.9%増となった。また、前年同月比(原指数)は2.4%増と14か月ぶりに前年実績を上回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比5.4%減)が3か月連続、運輸業・郵便業(同3.7%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同163.6%増)が8か月ぶり、情報通信業(同57.5%増)が15か月連続、卸売業・小売業(同11.6%増)が3か月連続、医療・福祉(同6.1%増)が2か月ぶり、その他のサービス業(同20.8%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
指数	93.9	97.8	98.0	91.1	96.4	97.3	91.5	95.1
前月比(%)	▲3.3	4.2	0.2	▲7.0	5.8	0.9	▲6.0	3.9
前年同月比(%)	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7	2.4
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	0.0	▲1.6	▲2.4	0.8	▲0.7	▲3.0	0.9

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月
建設業	▲44.5	▲33.8	▲53.1	▲62.4	▲44.6	▲52.6	▲49.0	163.6
製造業	▲0.5	3.2	▲1.7	▲7.0	1.6	▲3.3	▲3.6	▲5.4
情報通信業	86.6	75.2	105.0	85.7	105.8	88.8	71.4	57.5
運輸業・郵便業	▲10.1	▲11.0	▲7.7	▲10.1	▲10.5	1.5	▲2.7	▲3.7
卸売業・小売業	▲10.9	9.2	4.4	6.4	▲2.6	21.0	11.7	11.6
医療・福祉	1.6	▲15.9	▲1.4	▲20.4	▲16.1	2.8	▲11.7	6.1
その他のサービス業	20.0	8.0	10.1	6.8	7.4	▲2.4	4.2	20.8
調査産業計	▲9.9	▲5.5	▲3.8	▲13.4	▲7.3	▲7.7	▲8.7	2.4

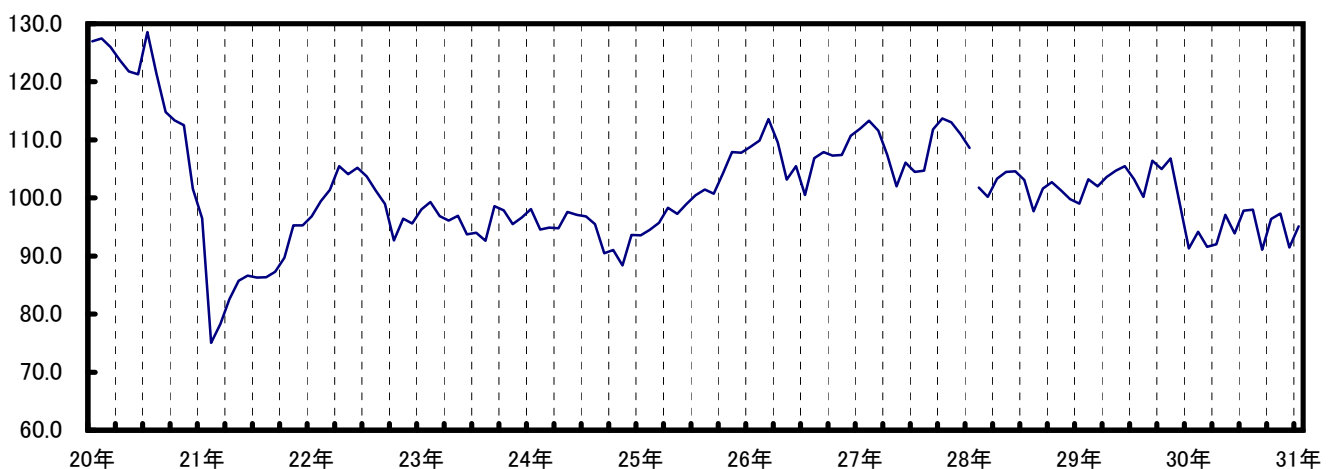
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 101.8

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.3%上昇

*前年同月比: 1.2%上昇

<概 況>

4月の国内企業物価指数は101.8となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は1.2%の上昇となった。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	102.0	102.4	102.1	101.5	100.9	101.1	101.5	101.8
前 月 比 (%)	0.2	0.4	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.6	0.2	0.3	0.3
前年同月比 (%)	3.0	3.0	2.3	1.5	0.6	0.8	1.3	1.2

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

3 月 = 138,361億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.8%増

*前年同月比: 1.6%減

<概 況>

3月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,361億円で、前月比は0.8%の増加となった。また、前年同月比は1.6%の減少となった。

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
貸出残高(億円)	138,099	138,887	137,361	137,406	138,841	137,565	137,331	138,361
前 月 比 (%)	▲ 0.2	0.6	▲ 1.1	0.0	1.0	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8
前年同月比 (%)	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.6	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

3 月 = 1.885%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.024ポイント減

*前年同月差: 0.187ポイント減

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.885%で、前月から0.024ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.187ポイントのマイナスとなった。

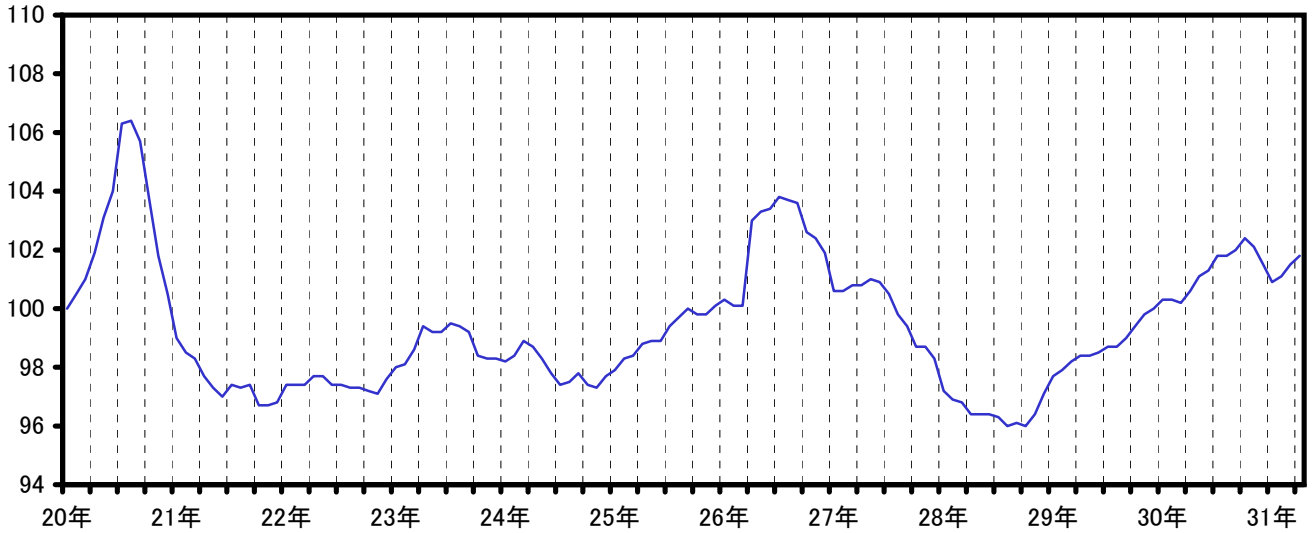
	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
貸出約定金利(%)	1.999	1.977	1.970	1.952	1.925	1.920	1.909	1.885
前月差(ポイント)	▲ 0.019	▲ 0.022	▲ 0.007	▲ 0.018	▲ 0.027	▲ 0.005	▲ 0.011	▲ 0.024
前年同月差(ポイント)	▲ 0.123	▲ 0.134	▲ 0.153	▲ 0.165	▲ 0.173	▲ 0.186	▲ 0.191	▲ 0.187

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

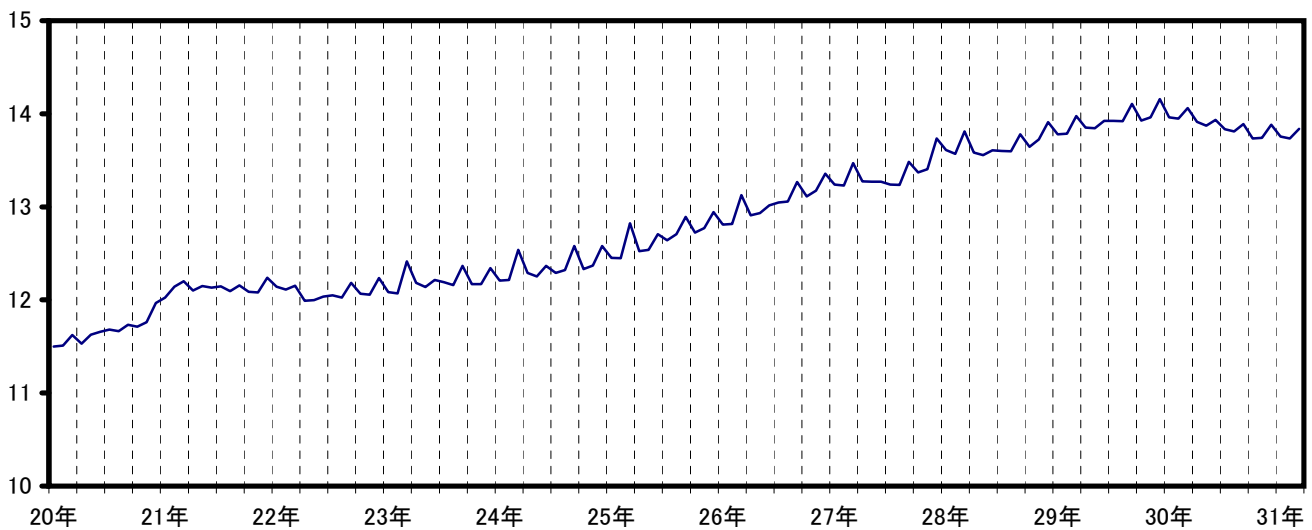
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



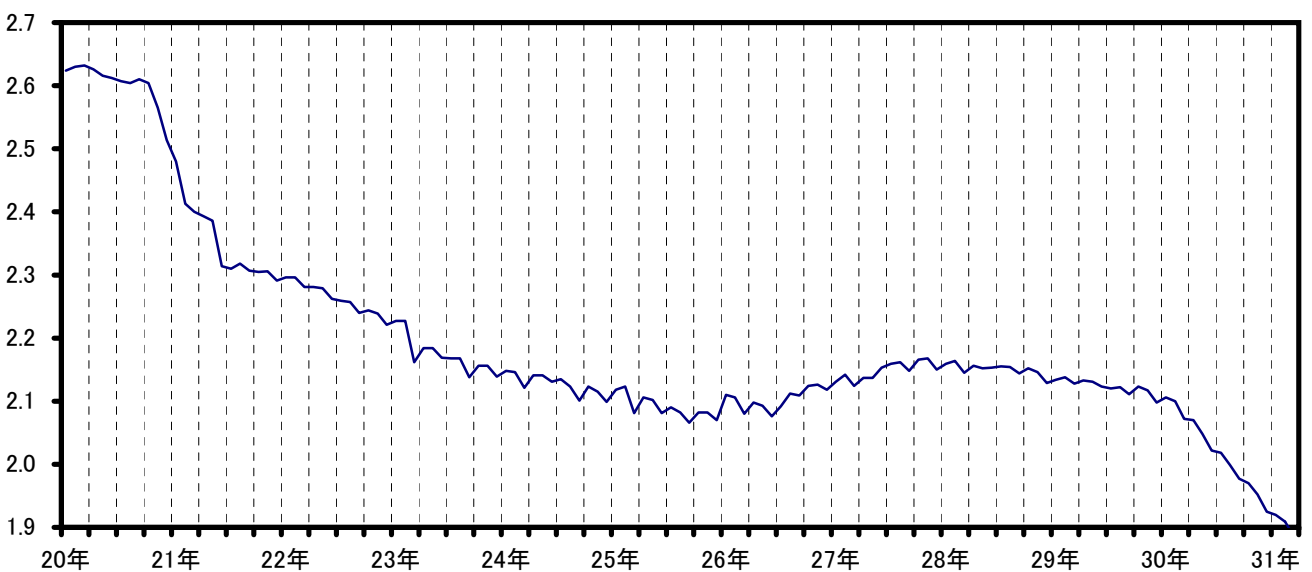
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 19,263百万円**

*前年同月比： 20.2%減

<概況>

3月の保証承諾は、金額は19,263百万円（前年同月比 20.2%減）、件数は1,927件（同 16.7%減）と、いずれも5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	19,715	18,648	16,121	17,768	19,565	12,720	16,016	19,263
前年同月比（%）	8.7	▲ 3.5	1.5	▲ 12.0	▲ 16.3	▲ 6.7	▲ 7.5	▲ 20.2
保証件数（件）	1,989	1,859	1,692	1,744	1,889	1,340	1,593	1,927
前年同月比（%）	2.9	▲ 7.5	3.5	▲ 9.6	▲ 18.5	▲ 9.8	▲ 12.7	▲ 16.7

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 111.66円/ドル**

*前月差： 0.45円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 4.23円安

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は111.66円で、前月と比べて0.45円の円安となり、3か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	111.89	112.78	113.37	112.45	108.95	110.36	111.21	111.66
前月差（円）	0.83	0.89	0.59	▲ 0.92	▲ 3.50	1.41	0.85	0.45
前年同月差（円）	1.21	▲ 0.18	0.45	▲ 0.52	▲ 1.82	2.54	1.52	4.23

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 16件**

*前年同月比： 33.3%増

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は16件（前年同月比 33.3%増）と、前年同月比を上回り、負債総額は2,457百万円（同 16.2%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の93.8%を占め、257か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

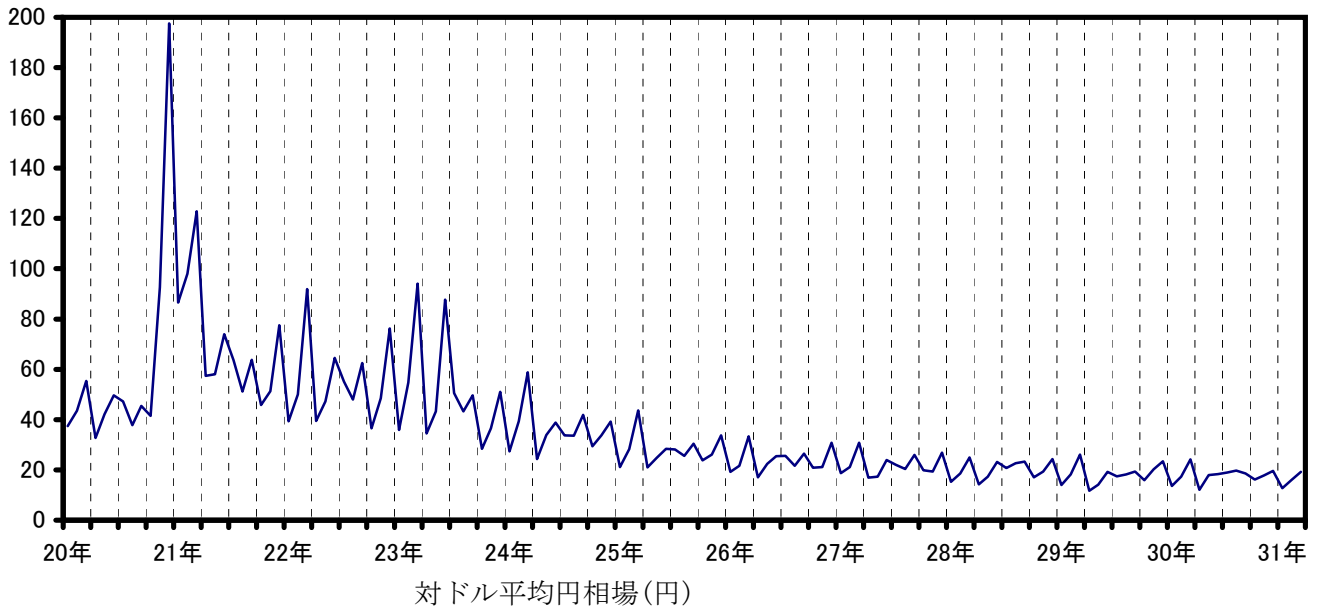
	30年9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月
倒産件数（件）	10	20	17	17	15	12	12	16
前年同月比（%）	▲ 56.5	▲ 13.0	▲ 19.0	13.3	▲ 16.6	▲ 45.4	▲ 53.8	33.3
うち不況型倒産件数（件）	9	15	15	17	15	9	12	15
負債総額（百万円）	662	3,587	2,238	2,489	1,235	1,495	4,320	2,457
前年同月比（%）	▲ 57.5	1.2	▲ 73.3	98.3	▲ 47.8	▲ 44.3	40.9	16.2

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

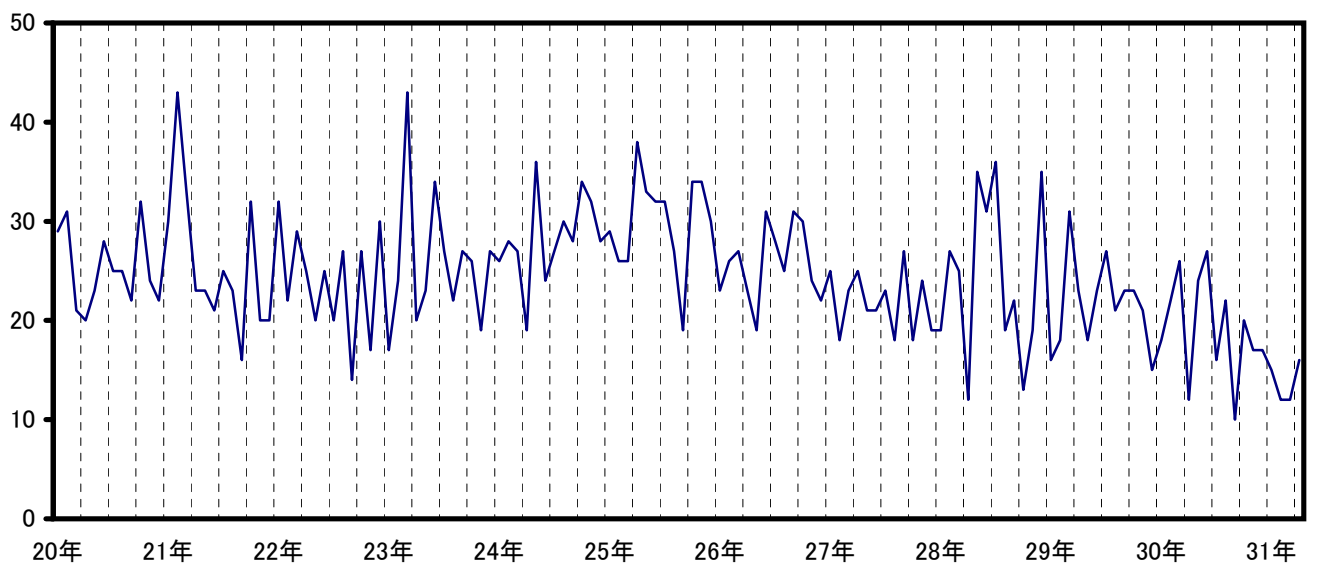
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成31年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、52,361台（前年同月比14.0%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、11,068台（同1.5%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,782台（同10.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,444台（同20.3%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,067台（同18.8%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、28,076台（同4.7%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、45,519台（同5.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>2月の自動車国内生産台数は、864,463台（前年同月比0.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出は417,128台（同0.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月連続、トラックが6か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は484億円（前年同月比15.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は467千台（同0.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,000千台（同9.1%増）と、14か月連続で前年実績を上回った。業務用は80千台（同8.7%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、1,640千台（同11.6%増）と、6か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,064千台（同5.4%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は64.9%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,306億6,400万円（前年同月比28.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は767億2,600万円（同28.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが313億7,800万円（同42.7%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。内需は539億3,800万円（同28.6%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「米中貿易摩擦の影響で仕事量が減少している。」という声や「先の仕事の一部に、納期繰り延べやキャンセルが出ているので、計画の見直しが必要になっている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億7,407万円（前年同月比 4.2%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが26億4,957万円（同14.1%増）、国内向けが25億2,450万円（同 4.5%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,968台（同 6.3%増）だった。機種別では、アップライトピアノが1,920台（同 6.9%増）、グランドピアノが1,048台（同 5.2%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,259台（同13.2%増）、国内向けが1,260台（同 3.4%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,151千ト（前年同月比 3.6%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,155千ト（同 4.4%減）と、22か月連続で前年実績を下回った。板紙は996千ト（同 2.7%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、649千ト（同 3.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、159千ト（同0.4%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,008千箱（前年同月比 0.0%）と、前年実績と同水準だった。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は666千箱（同 0.7%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は486千箱（同 2.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は342千箱（同 1.2%減）と、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,730千箱（同11.2%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、1,358千㎡（前年同月比 2.0%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,282千㎡（同 1.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、76千㎡（同 4.6%増）と、18か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、26千㎡（同 24.9%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、57億3,628万円（前年同月比 3.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、536億7,942万円（同 13.9%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、34,354百万円（既存店前年同月比1.7%増）と、前年実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、飲食料品、家庭用品、その他の商品が好調だった。</p> <p>県内の総合スーパーへの聞き取りによると、衣料品、住居関連品、食品が前年を上回り好調であり、売上を伸ばした。特に食品では、精肉、鮮魚、加工食品が好調であったため、相場安の影響を受けた野菜の伸び悩みをカバーした。</p> <p>また、県内専門店への聞き取りによると、近隣に出店した他店舗の影響で生鮮品の売上が減少し、全体売上が伸びなかった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、衣料品、雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の不調から売上が伸び悩んだ。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約48万人と、前年同月比6.3%減だった。</p> <p>はままつフラワーパークや浜松市動物園は、桜の開花が4月にずれ込んだため、前年に比べて来場者が減少した。</p> <p>主要有料道路（5路線）の合計通行車両数は、約78万台となり、前年同月に比べて0.3%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	12,784	10,823	21,457	29,265	26,209	24,560	24,286	25,212	21,861
前年同月比(%)	▲14.7	▲32.8	44.1	72.9	56.1	79.2	84.4	20.6	12.7
KD輸出額(百万円)	589	624	709	779	743	754	765	816	795
前年同月比(%)	▲23.7	8.5	43.0	29.3	22.5	42.0	41.9	25.4	54.2

<楽 器>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,187	2,767	2,768	3,478	3,348	2,952	2,812	3,032	3,150
前年同月比(%)	▲5.0	▲5.7	▲10.1	5.3	0.4	▲10.5	10.9	4.4	2.5

<缶詰>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	996	966	943	1,043	1,034	949	925	891	1,008
前年同月比(%)	3.1	▲0.9	▲2.2	7.9	4.2	6.1	14.8	1.4	0.0
うち水産缶詰(%)	5.7	6.8	▲0.6	6.4	2.5	7.0	18.8	0.5	0.7
農畜産缶詰(%)	▲2.8	▲16.4	▲6.3	11.3	8.5	4.2	5.3	3.3	▲1.2
飲料缶生産高(千ケース)	7,139	7,407	6,774	6,884	7,005	6,135	4,650	5,548	7,730
前年同月比(%)	▲14.8	▲3.2	7.6	15.8	10.4	11.3	▲0.9	6.8	11.2

<織 維>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	1,137	1,149	1,344	1,495	1,718	1,639	1,532	1,392	1,358
前年同月比(%)	1.5	3.5	▲4.7	0.1	2.4	3.1	1.1	4.4	2.0
小幅織物(千㎡)	27	24	27	29	31	31	29	27	26
前年同月比(%)	▲0.1	▲4.3	▲12.9	▲8.7	▲5.4	▲6.4	▲7.5	▲22.6	▲24.9

<観 光>

	30年7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月
観光施設(10施設)入込 (千人)	287	531	354	372	393	283	305	278	480
前年同月比(%)	▲14.2	▲5.7	▲9.5	12.6	5.2	12.5	6.6	5.6	▲6.3
有料道路(5路線)通行量 (千台)	752	890	675	724	738	730	675	667	780
前年同月比(%)	▲2.9	0.8	▲4.1	8.1	0.4	0.7	5.6	6.8	▲0.3

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和元年5月号 通巻517号

発行 静岡県経済産業部
令和元年5月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>